統計で見る

Kyaao

九州農業の概要



令和８年度版

令和８年10月

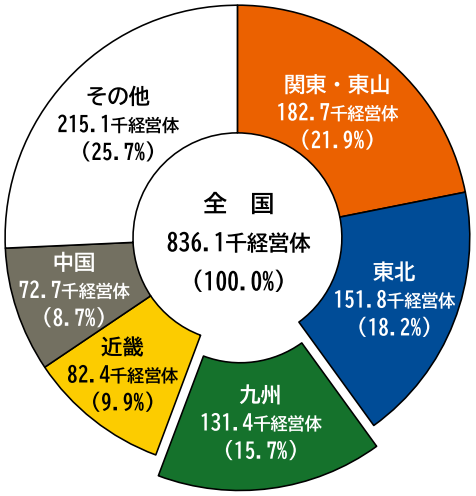
九州農政局　統計部

1．農業経営体　- Agricultural Management Entity -

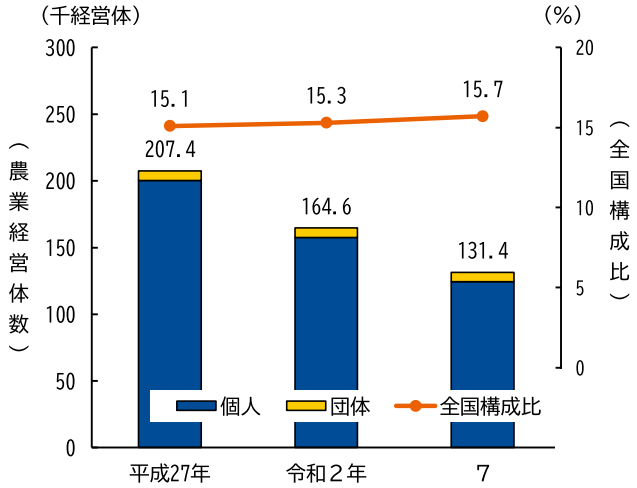
九州の農業経営体数は全国の約16%

令和７年の九州の農業経営体数は13万1,378経営体で、全国の15.7%を占めている。10年前（平成27年）と比べて７万6,063経営体（36.7%）減少したものの、全国構成比は増加傾向にある。

農業地域別 農業経営体数（令和７年）



農業経営体数の推移（九州）



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」（以下同じ）

注　：農業経営体とは、農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、次の１から３までのいずれかに該当する事業を行う者。

１．経営耕地面積が30a以上の規模の農業

２．農作物の作付(栽培)面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業規模が次の農業経営体の外形基準以上の規模の農業

ア 露地野菜作付面積：15ａ　イ 施設野菜栽培面積：350㎡　ウ 果樹栽培面積：10ａ　エ 露地花き栽培面積：10ａ
オ 施設花き栽培面積：250㎡　カ 搾乳牛飼養頭数：１頭　キ 肥育牛飼養頭数：１頭　ク 豚飼養頭数：15頭
ケ 採卵鶏飼養羽数：150羽　コ ブロイラー年間出荷羽数：1,000羽
サ その他：調査期日前１年間における農業生産物の総販売額50万円に相当する規模の事業

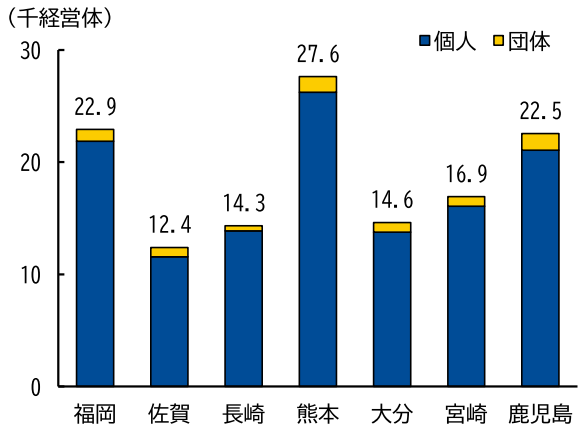
３．農作業の受託の事業

注　：四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。（以下同じ）

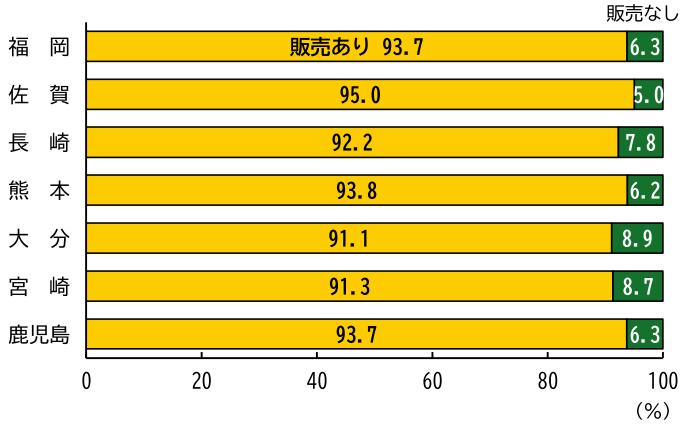
九州では熊本県が最も農業経営体数が多い

令和７年の九州各県の農業経営体数をみると、熊本県が２万7,619経営体で最も多く、次いで福岡県（２万2,921経営体）、鹿児島県（２万2,541経営体）となっている。一方、販売の有無の状況をみると、販売のあった農業経営体の割合は佐賀県が95.0%で最も高い。

九州各県 農業経営体数（令和７年）



九州各県 販売の有無別農業経営体構成割合（令和７年）

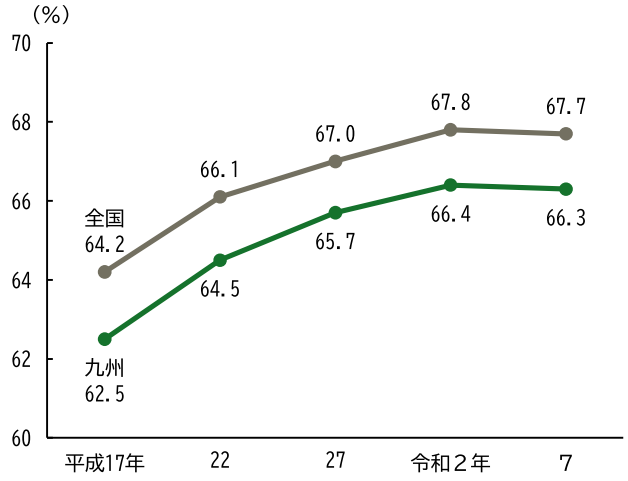


農業従事者の高齢化が進行

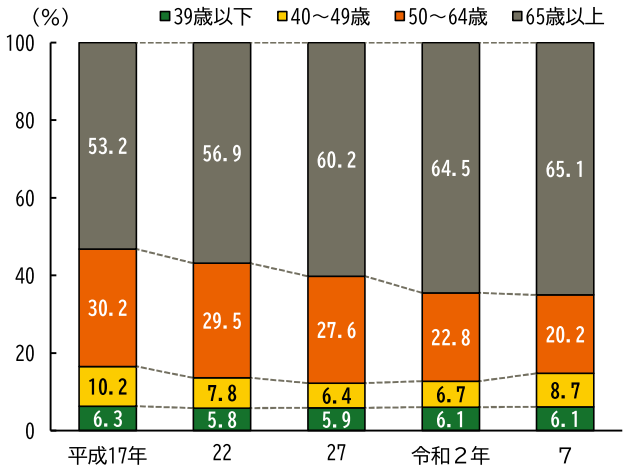
令和７年の九州の基幹的農業従事者の平均年齢は66.3歳で、全国平均（67.7歳）を1.4歳下回っている。５年前（令和２年）と比べると0.1歳低下したものの、20年前（平成17年）と比べると3.8歳上昇しており、高齢化は続いているが、近年は横ばい傾向で推移している。

また、基幹的農業従事者の年齢別構成割合の推移をみると、20年前（平成17年）と比べて65歳以上の割合は11.9ポイント上昇しており、近年は49歳以下の割合も上昇傾向にある。

基幹的農業従事者の平均年齢の推移（全国・九州）



基幹的農業従事者の年齢別構成割合の推移（九州）



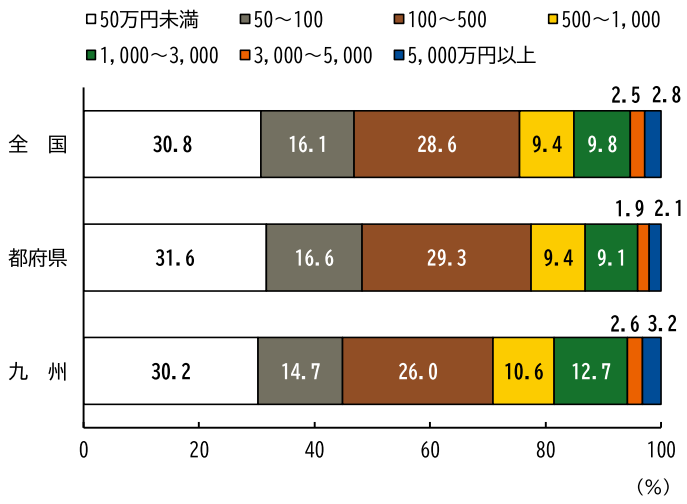
注　：基幹的農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者。

販売金額規模の大きな経営体の割合が上昇

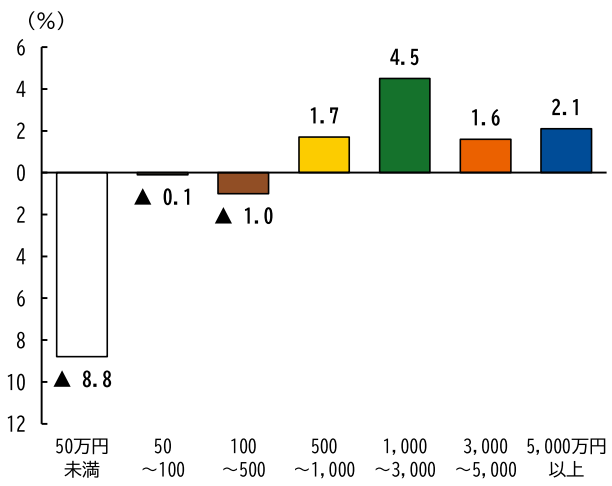
令和７年の九州の農産物販売金額規模別経営体の構成割合をみると、販売金額1,000万円以上の割合は18.5%で、全国（15.1%）を3.4ポイント上回っている。

また、九州の構成割合の変化をみると、20年前（平成17年）と比べて500万円未満の割合が低下した一方、500万円以上の割合は上昇しており、経営規模の拡大が進んでいることがうかがえる。

農産物販売金額規模別経営体構成割合（令和７年）（全国・都府県・九州）



構成割合の変化（九州）（平成17年▶令和７年）



注　：50万円未満は、販売無しを含む。

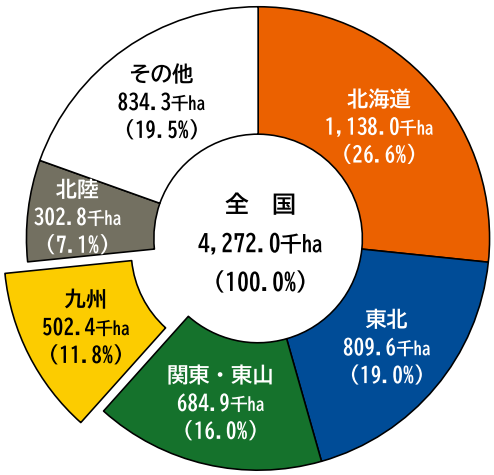
2．耕地面積　- Cultivated Land Area -

九州の耕地面積は全国の約12%

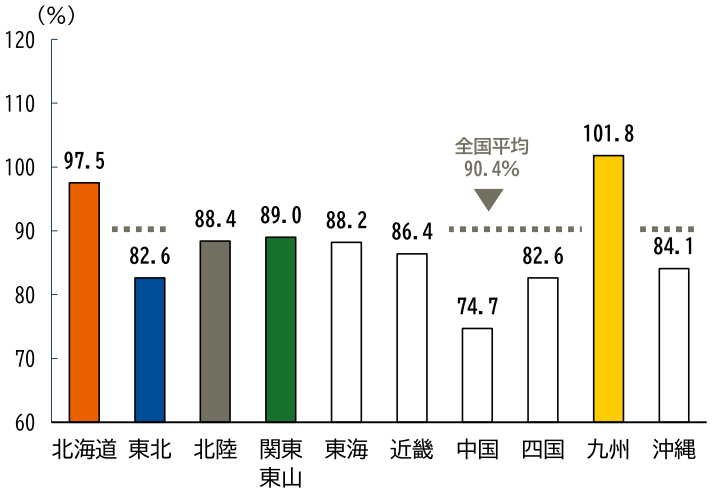
令和６年の九州の耕地面積は50万2,400haで、全国の11.8%を占めている。

一方、耕地利用率をみると、九州は101.8%で全国で最も高い水準にあり、全国平均（90.4%）を大きく上回っている。これは、他の地域に比べて二毛作が盛んであることなどが要因となっている。

農業地域別 耕地面積（令和６年）



農業地域別 耕地利用率（令和６年）



資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」（以下同じ）

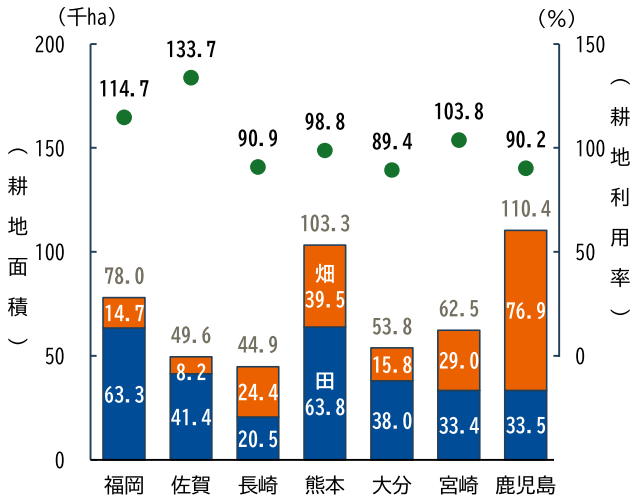
注　：耕地利用率は、（１年間の作付延べ面積÷耕地面積）×100%で算出し、この割合が高いほど耕地を有効利用しているといえる。

高い耕地利用率の一方で、耕地面積は減少傾向で推移

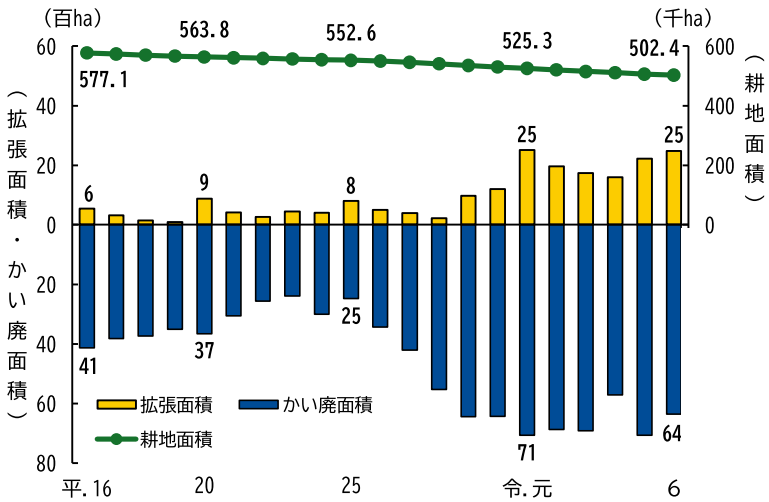
九州各県の耕地面積及び耕地利用率をみると、耕地面積では鹿児島県が11万400haで最も大きく、次いで熊本県（10万3,300ha）、福岡県（７万8,000ha）となっている。また、耕地利用率では佐賀県が133.7%で最も高く、次いで福岡県（114.7%）、宮崎県（103.8%）となっており、九州では５県が全国平均（90.4%）を上回り、特に佐賀県は全国１位となっている。

一方、直近20年間の耕地の拡張・かい廃の状況をみると、かい廃面積が拡張面積を大きく上回る状況が続いており、九州の耕地面積は20年前（平成16年）と比べて７万4,700ha（12.9%）減少している。

九州各県 耕地面積及び耕地利用率（ 令和６年 ）



拡張面積・かい廃面積及び耕地面積の推移（ 九州 ）



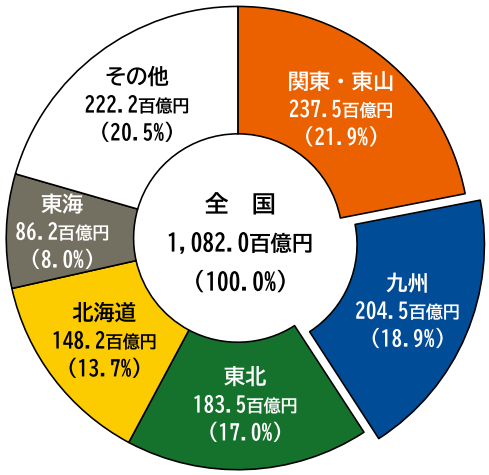
3．農業産出額　- Agricultural Output -

九州の農業産出額は全国の約19%

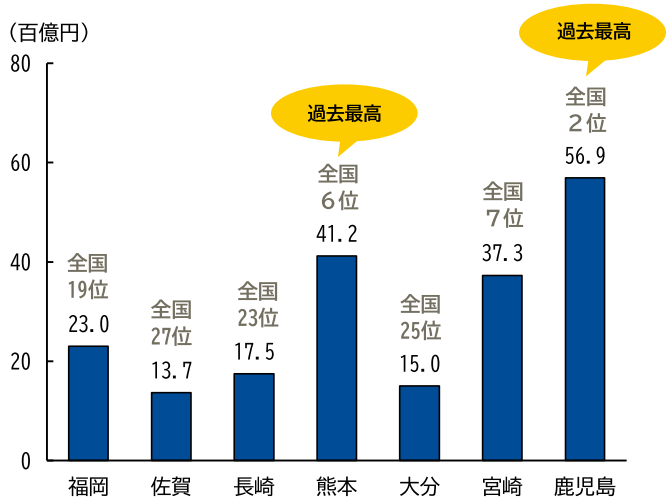
令和６年の九州の農業産出額は２兆445億円で、全国の18.9%を占めている。

県別にみると、鹿児島県が5,689億円（全国２位）で最も大きく、次いで熊本県（4,116億円、同６位）、宮崎県（3,725億円、同７位）となっている。全国10位以内に九州の３県が位置しており、九州は国内有数の食料供給基地となっている。

農業地域別 農業産出額（令和６年）



九州各県 農業産出額（令和６年）



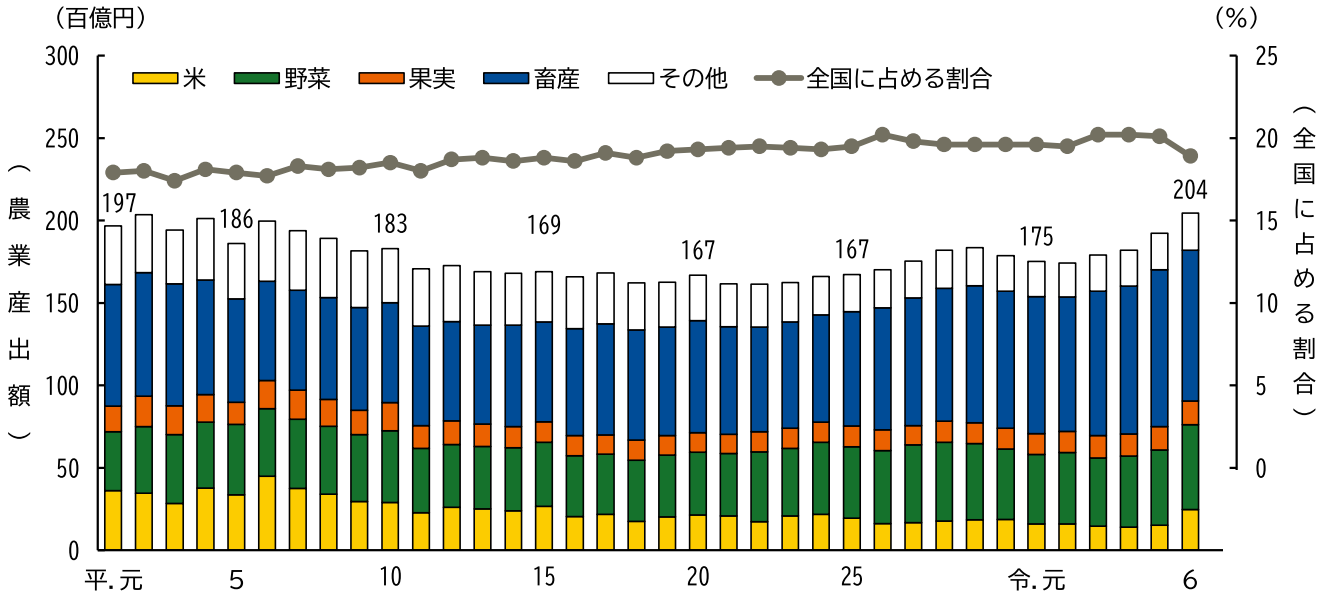
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」（以下同じ）
注　：全国は都道府県の合計。（以下同じ）

九州の農業産出額は令和６年に過去最高を更新

九州の農業産出額の推移をみると、平成２年を境に緩やかな減少傾向にあったが、平成23年以降は野菜や畜産を中心に増加へ転じた。

その後、新型コロナウイルス感染症の影響による需要変化等を経ながらも増加基調で推移し、令和６年は米や野菜の価格上昇を背景に過去最高を更新した。

農業産出額及び全国に占める割合の推移（九州）



3．農業産出額（つづき）

北部では野菜や果実、南部では畜産が上位に位置している

令和６年の農業産出額の上位品目を県別にみると、米と肉用牛が全県に共通している一方で、地理的・気候的条件の違いから、北部では野菜や果実、南部では畜産が上位に位置している。

令和６年 農業産出額上位品目（九州・各県）

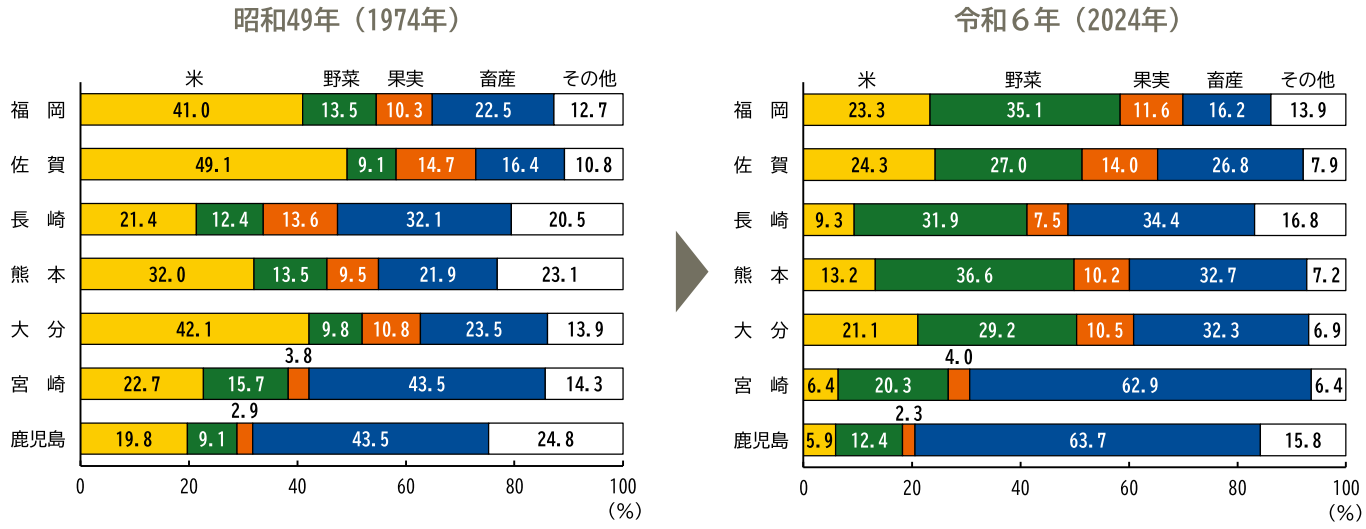
九州			福岡			佐賀			長崎		
品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位
	億円	位		億円	位		億円	位		億円	位
肉用牛	3,064	…	米	536	16	米	333	26	肉用牛	249	7
米	2,466	…	いちご	233	2	肉用牛	188	11	米	163	37
豚	2,183	…	ぶどう	95	5	みかん	127	5	ばれいしょ	158	2
ブロイラー	2,165	…	鶏卵	88	22	たまねぎ	94	3	豚	147	16
生乳	734	…	肉用牛	77	26	ブロイラー	94	9	いちご	132	5
鶏卵	725	…	生乳	74	23	いちご	84	8	みかん	95	6
いちご	703	…	ねぎ	66	6	豚	55	28	ブロイラー	85	11

熊本			大分			宮崎			鹿児島		
品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位
	億円	位		億円	位		億円	位		億円	位
米	545	15	米	316	28	肉用牛	797	3	肉用牛	1,192	2
トマト	437	1	肉用牛	141	16	ブロイラー	756	2	ブロイラー	1,054	1
肉用牛	420	4	豚	136	18	豚	580	3	豚	912	1
生乳	332	3	ねぎ	110	4	米	237	34	米	336	25
豚	294	10	生乳	87	18	きゅうり	208	1	鶏卵	332	4
みかん	207	4	鶏卵	49	29	ピーマン	119	2	かんしょ	223	2
いちご	168	3	ブロイラー	47	17	生乳	88	16	茶（生葉）	157	1

米中心の農業から多様な品目へ

令和６年の農業産出額構成割合を50年前（昭和49年）と比較すると、米を中心とした構造から、多角的な品目生産へと大きくシフトしている。

九州各県 農業産出額構成割合（昭和49年 ▶ 令和６年）

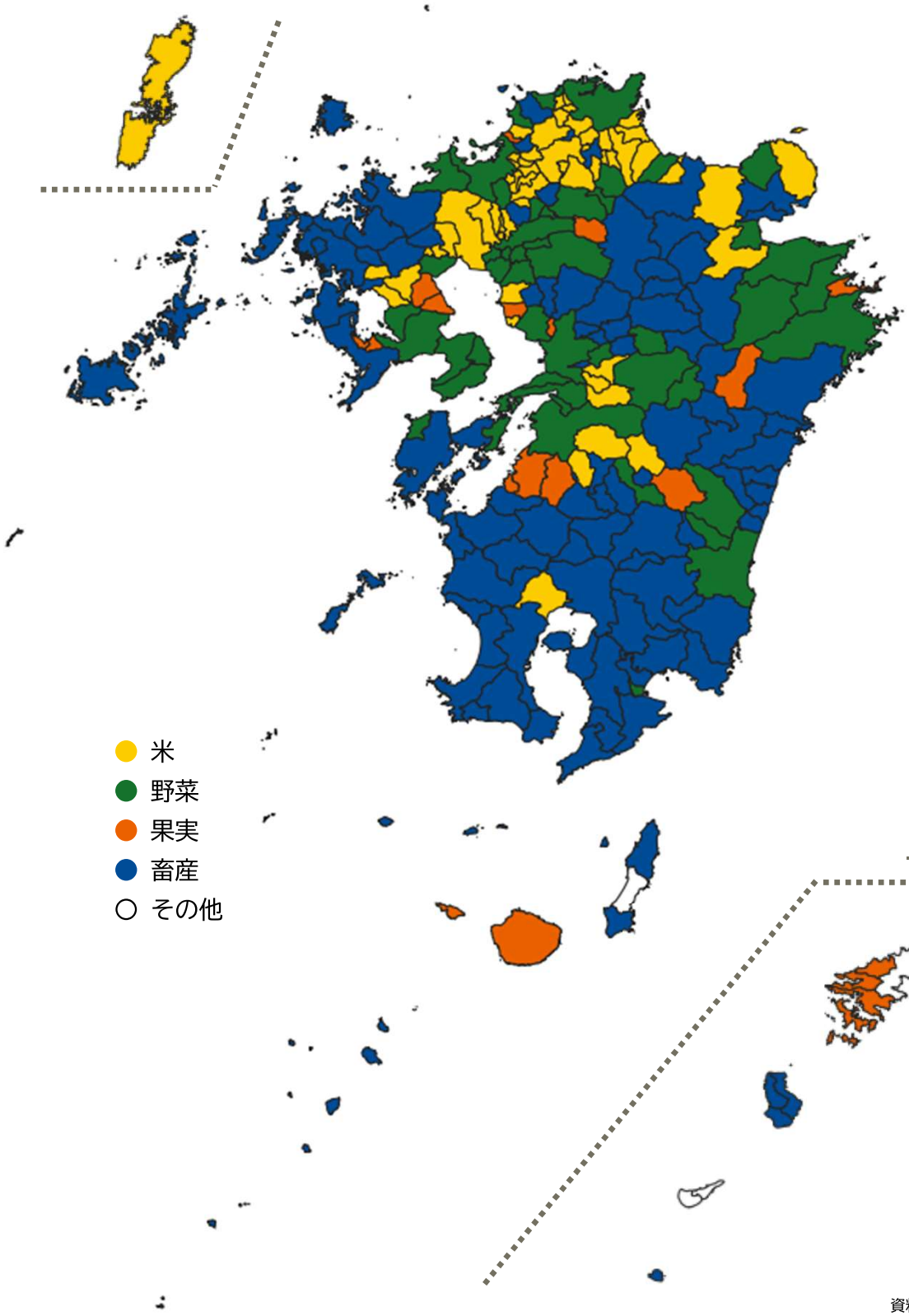


注 ：養蚕は、平成14年から畜産計のうち「その他畜産物」に含めている。（平成12年までの養蚕は畜産計の外数。）

市町村別では、九州では３市が全国10位以内に位置している

令和６年の農業産出額を市町村別にみると、九州では宮崎県都城市（920.7億円。全国２位）、熊本県熊本市（572.7億円。全国９位）及び鹿児島県鹿屋市（568.7億円。全国10位）の３市が全国10位以内に位置している。

令和６年 市町村別農業産出額（１位部門）



令和６年 市町村別農業産出額（九州上位15市町村）

市町村名	産出額	全国順位
	億円	位
都城市（宮崎県）	920.7	2
熊本市（熊本県）	572.7	9
鹿屋市（鹿児島県）	568.7	10
曽於市（鹿児島県）	547.6	11
南九州市（鹿児島県）	485.8	14
菊池市（熊本県）	459.8	16
八代市（熊本県）	421.1	19
宮崎市（宮崎県）	387.0	22
出水市（鹿児島県）	377.2	25
久留米市（福岡県）	366.5	26
大崎町（鹿児島県）	362.6	27
小林市（宮崎県）	343.3	33
雲仙市（長崎県）	334.4	35
玉名市（熊本県）	302.2	46
指宿市（鹿児島県）	294.8	49

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

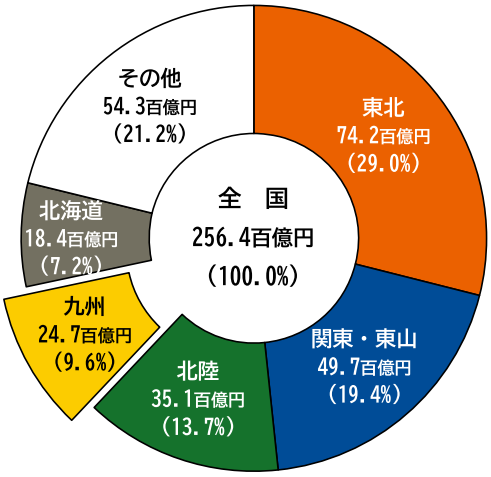
4．米生産　- Rice Production -

九州の米の産出額は全国の約10%

令和６年の九州の米の産出額は2,466億円で、全国の9.6%を占めている。

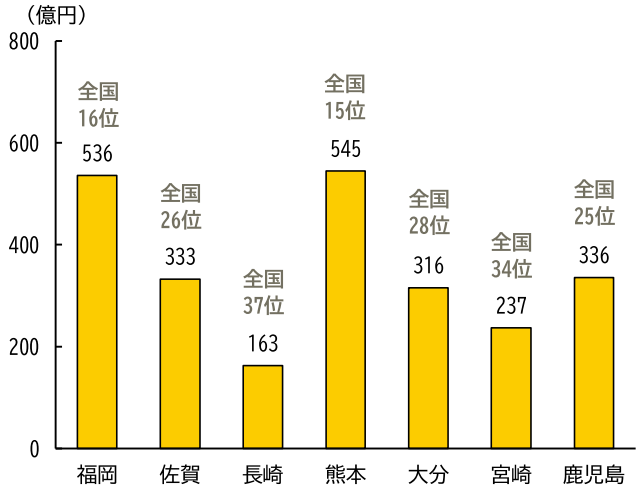
県別にみると、熊本県が545億円（全国15位）で最も大きく、次いで福岡県（536億円、同16位）、鹿児島県（336億円、同25位）となっており、九州では福岡県及び熊本県の２県が全国20位以内に位置している。

農業地域別 米産出額（令和６年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」
注　：全国は都道府県の合計。

九州各県 米産出額（令和６年）



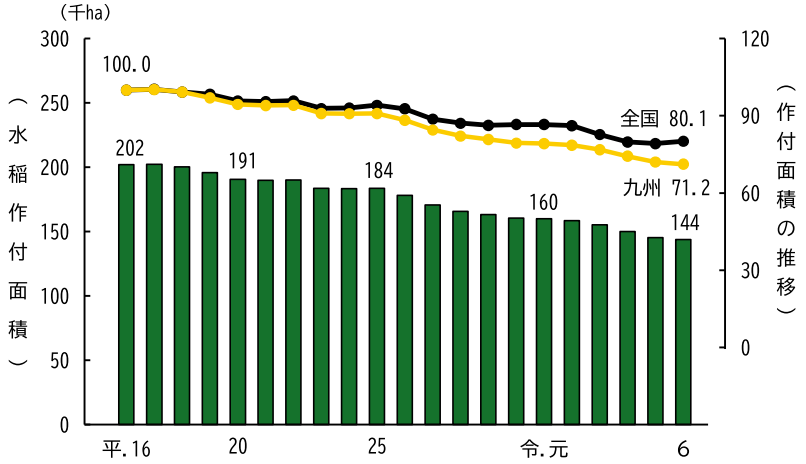
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

九州の水稲作付面積は20年で約29%減少

令和６年の九州の水稲作付面積は14万3,700haで、20年前（平成16年）に比べ５万8,200ha（28.8%）減少している。また、平成16年を100とした指数で推移をみると、九州の減少幅は全国を上回っている。

一方、検査結果における品種の構成割合をみると、平成20年産では「ヒノヒカリ」が46.3%で約半数を占めていたが、近年は品種の多様化が進み、「さがびより」や「元気つくし」、「くまさんの輝き」等の高温耐性品種の割合が拡大している。

水稲作付面積の推移（九州）
水稲作付面積の推移（平成16年＝100、全国・九州）



資料：農林水産省統計部「作物統計」

水稲うるち玄米品種割合（九州）（平成20年産・令和６年産）

品　種	平成20年産	令和６年産
	%	%
ヒノヒカリ	46.3	27.2
夢つくし	9.3	11.0
コシヒカリ	18.2	10.5
さがびより	－	6.8
元気つくし	－	6.3
夢しずく	4.4	5.0
くまさんの輝き	－	3.6
なつほのか	－	3.6
森のくまさん	3.5	3.3
にこまる	1.3	2.8

資料：農林水産省農産局「米穀の農産物検査結果等」
注　：水稲うるち玄米の総検査数量に占める割合

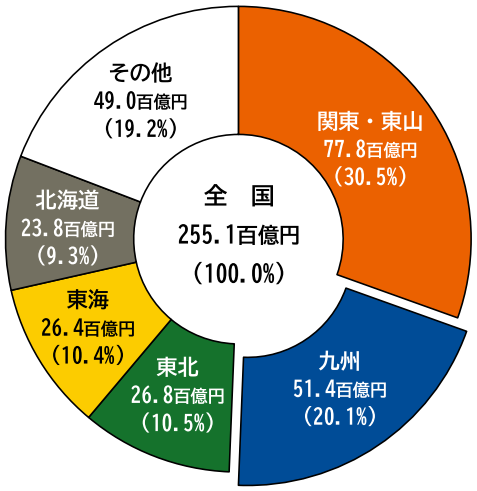
5．野菜生産　- Vegetables Production -

九州の野菜の産出額は全国の約20%

令和６年の九州の野菜の産出額は5,139億円で、全国の20.1%を占めている。

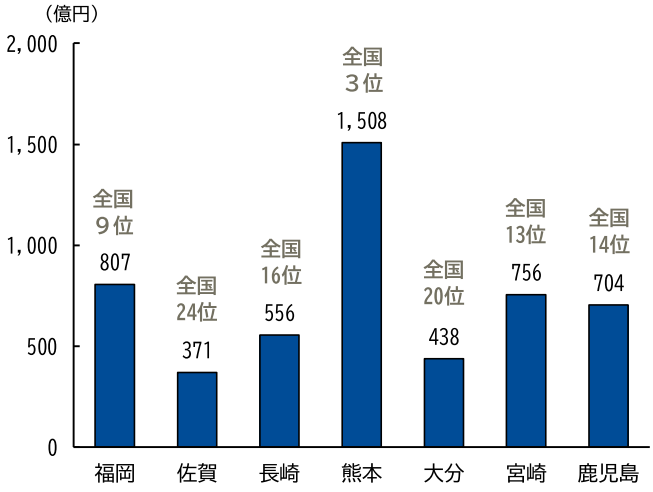
県別にみると、熊本県が1,508億円（全国３位）で最も大きく、次いで福岡県が807億円（同９位）、宮崎県が756億円（同13位）となっており、九州では熊本県及び福岡県の２県が全国10位以内に位置している。

農業地域別 野菜産出額（令和６年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」
注　：全国は都道府県の合計。

九州各県 野菜産出額（令和６年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

九州では「いちご」の産出額が最も大きい

野菜の産出額を品目別にみると、九州ではいちごが703億円（全国シェア32.8%）で最も大きく、次いでトマトが666億円（同27.3%）、きゅうりが392億円（同24.5%）となっており、上位３品目で全体（5,139億円）の約３割を占めている。

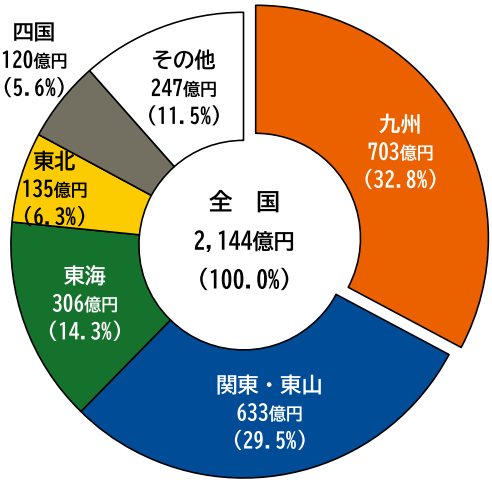
そのうち、いちごの産出額を農業地域別にみると、九州が703億円で最も大きく、次いで関東・東山が633億円、東海が306億円となっており、九州が全国有数のいちご産地であることが分かる。

令和６年 野菜産出額の上位品目（九州）

品　目	産出額		九州内１位	
		全国シェア	県	産出額
	億円	%		億円
いちご	703	32.8	福岡	233
トマト	666	27.3	熊本	437
きゅうり	392	24.5	宮崎	208
ねぎ	256	15.6	大分	110
キャベツ	238	16.1	鹿児島	89
ピーマン	226	33.8	宮崎	119
なす	210	23.9	熊本	116

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」
注　：生産農業所得統計では、ばれいしょは「いも類」に含まれる。

農業地域別 いちご産出額（令和６年）



資料：農林水産省農産局「生産農業所得統計」

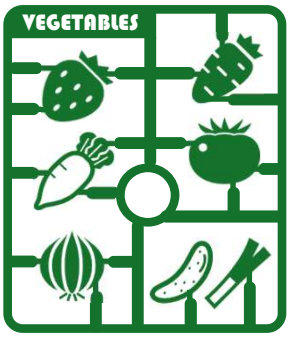
北部では葉茎菜類、南部では根菜類の産出額が大きい傾向にある

各県の野菜の産出額の上位品目をみると、果菜類が全県に共通している一方、九州北部では葉茎菜類、九州南部では根菜類の産出額が大きい傾向にある。

九州各県 野菜産出額上位品目（令和６年）

福岡			佐賀			長崎			熊本		
品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位
	億円	位		億円	位		億円	位		億円	位
いちご	233	2	たまねぎ	94	3	いちご	132	5	トマト	437	1
ねぎ	66	6	いちご	84	8	レタス	47	7	いちご	168	3
なす	62	4	きゅうり	48	9	トマト	45	15	すいか	126	1
トマト	48	13	アスパラガス	25	2	たまねぎ	42	4	メロン	126	2
レタス	48	6	れんこん	21	3	にんじん	42	4	なす	116	2
ほうれんそう	38	6	ねぎ	19	27	ブロッコリー	38	7	キャベツ	58	7
こまつな	35	2	トマト	12	42	きゅうり	23	23	きゅうり	50	8

大分			宮崎			鹿児島		
品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位
	億円	位		億円	位		億円	位
ねぎ	110	4	きゅうり	208	1	キャベツ	89	5
トマト	43	18	ピーマン	119	2	だいこん	77	3
いちご	35	16	トマト	64	12	ピーマン	61	3
ピーマン	26	6	だいこん	50	6	オクラ	50	1
しそ	18	2	さといも	37	2	さやえんどう	45	1
にら	18	6	ごぼう	33	2	にんじん	34	8
はくさい	17	7	いちご	29	20	ごぼう	32	3



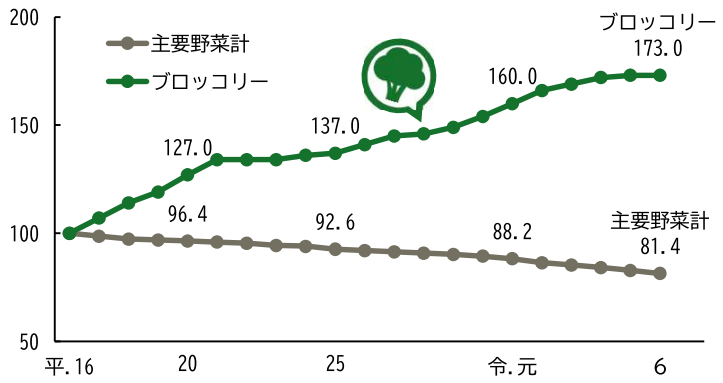
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

ブロッコリーの作付面積が増加

全国的に野菜の作付面積が減少傾向で推移している中、健康志向の高まりや需要の増加を背景にブロッコリーは増加傾向にあり、令和８年度から「野菜生産出荷安定法」に基づく指定野菜に追加された。

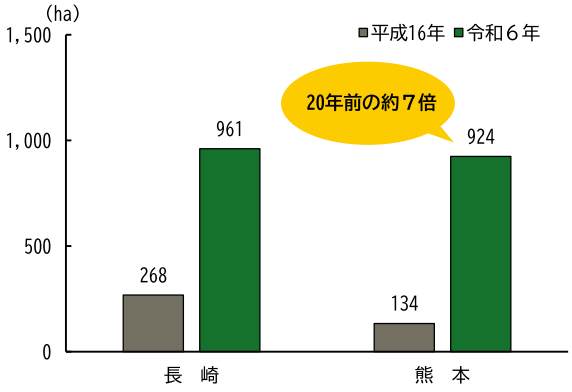
九州では長崎県及び熊本県が主産県であり、作付面積を20年前（平成16年）と比較すると、長崎県では693ha（258.6%）、熊本県では790ha（589.6%）増加している。

主要野菜とブロッコリーの作付面積の推移（平成16年＝100、全国）



資料：農林水産省統計部「作物統計」

ブロッコリー作付面積（長崎・熊本）（平成16年 ▶ 令和６年）



資料：農林水産省統計部「作物統計」

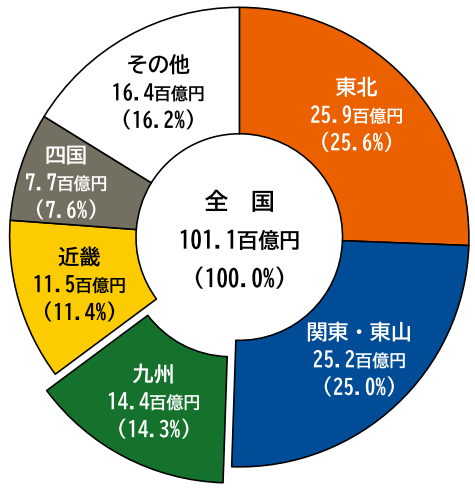
6. 果実生産 - Fruit Production -

九州の果実の産出額は全国の約14%

令和６年の九州の果実の産出額は1,443億円で、全国の14.3%を占めている。

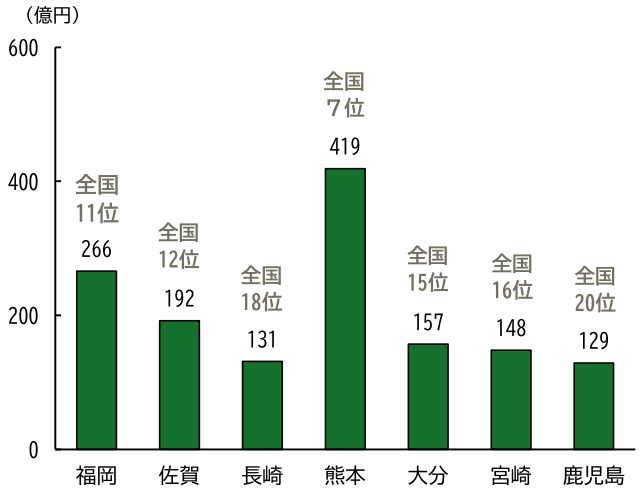
県別にみると、熊本県が419億円（全国７位）で最も大きく、次いで福岡県が266億円（同11位）、佐賀県が192億円（同12位）となっており、九州では熊本県が全国10位以内に位置している。

農業地域別 果実産出額（令和６年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」
注　：全国は都道府県の合計。

九州各県 果実産出額（令和６年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

九州では「みかん」の産出額が最も大きい

果実の産出額を品目別にみると、九州ではみかんが559億円（全国シェア29.8%）で最も大きく、次いでぶどうが192億円（同9.0%）、しらぬい（デコポン）が118億円（同70.2%）となっており、上位３品目で全体（1,443億円）の約６割を占めている。

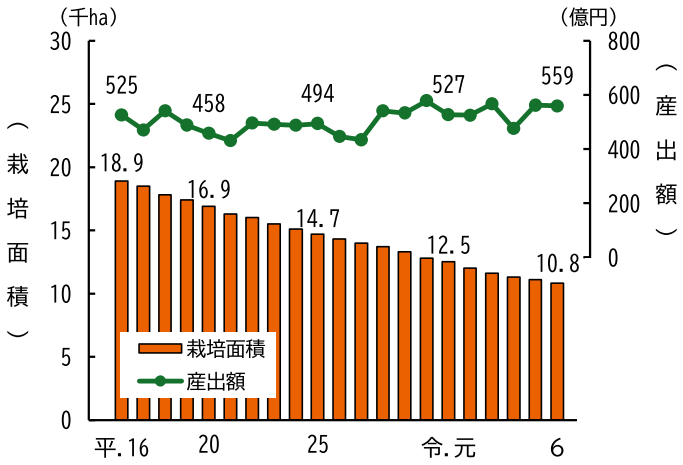
また、みかん生産の直近20年の動向をみると、栽培面積は減少傾向で推移している一方、産出額は近年増加傾向で推移している。これは、高品質化の取組などにより市場評価が高まり、価格が堅調に推移していることが要因の一つと考えられる。

令和６年 果実産出額の上位品目（九州）

品　目	産出額		九州内１位	
		全国シェア	県	産出額
	億円	%		億円
みかん	559	29.8	熊本	207
ぶどう	192	9.0	福岡	95
しらぬい	118	70.2	熊本	83
日本なし	106	14.1	熊本	28
マンゴー	63	69.2	宮崎	50
かき	59	12.8	福岡	44
キウイフルーツ	29	26.1	福岡	17

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

みかん生産の動向（九州）



資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」
農林水産省統計部「生産農業所得統計」

6．果実生産（つづき）

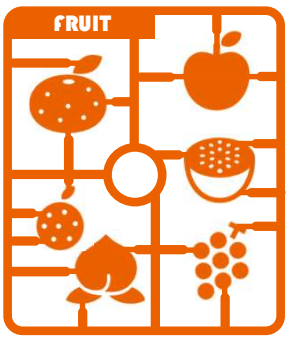
果実の上位品目は地域によって特色がある

各県の果実の産出額の上位品目をみると、各県でみかん及びぶどうが主要品目となっている一方、長崎県のびわ、熊本県のブンタン、大分県のカボス、宮崎県のきんかん及び日向夏、鹿児島県のなつみかん及びたんかん等、地域ごとの特色がみられる。

九州各県 果実産出額上位品目（令和６年）

福岡			佐賀			長崎			熊本		
品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位
	億円	位		億円	位		億円	位		億円	位
ぶどう	95	5	みかん	127	5	みかん	95	6	みかん	207	4
みかん	50	8	日本なし	17	13	びわ	10	…	しらぬい	83	1
かき	44	3	しらぬい	10	5	ぶどう	10	27	日本なし	28	7
日本なし	26	10	ぶどう	7	32	しらぬい	3	9	ぶどう	26	13
キウイフルーツ	17	3	うめ	5	8	もも	3	16	くり	19	2
もも	11	8	キウイフルーツ	4	9	日本なし	2	40	ブンタン	10	…
いちじく	7	3	もも	2	21	うめ	1	33	かき	10	12

大分			宮崎			鹿児島		
品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位
	億円	位		億円	位		億円	位
みかん	33	11	マンゴー	50	1	みかん	30	12
ぶどう	32	10	きんかん	22	…	なつみかん	20	…
日本なし	27	9	みかん	17	19	しらぬい	12	4
カボス	24	…	日向夏	14	…	マンゴー	11	3
うめ	5	6	ぶどう	13	24	たんかん	9	…
キウイフルーツ	5	6	ゆず	5	4	ぶどう	9	28
しらぬい	4	7	日本なし	4	33	ポンカン	7	…

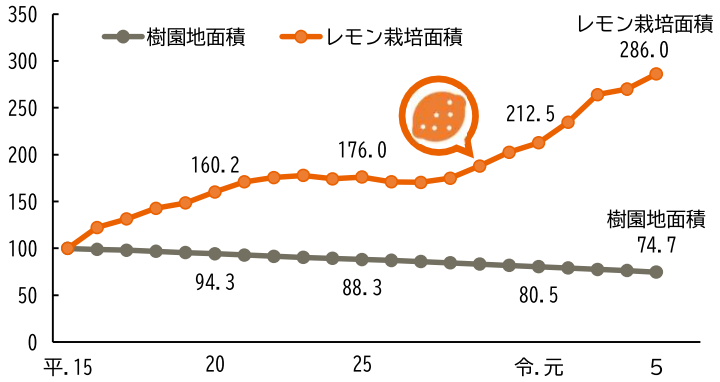


資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

レモンの栽培面積が増加

農業経営体数の減少や高齢化などを背景に樹園地面積が減少する一方、多様な品目への転換が進められている。近年は、国内需要の増加などを背景に、全国的にレモンの栽培面積が増加しており、九州では宮崎県及び熊本県を中心に生産が行われている。

樹園地面積とレモンの栽培面積の推移（平成15年＝100、全国）



資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」
農林水産省統計部「特産果樹生産出荷実績調査」

令和５年産 レモン生産状況（各県）

	栽培面積	収穫量	出荷量	
				加工向け
	ha	t	t	t
福岡	5	24	23	2
佐賀	19	204	199	5
長崎	9	80	71	1
熊本	26	338	233	9
大分	28	38	29	0
宮崎	33	446	395	95
鹿児島	2	6	5	－

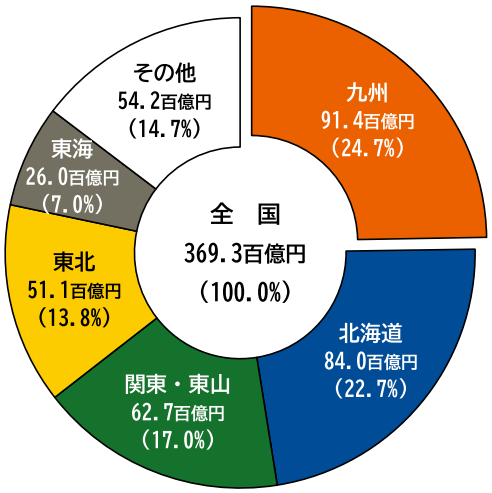
資料：農林水産省統計部「特産果樹生産出荷実績調査」

九州の畜産の産出額は全国の約25%

令和６年の九州の畜産の産出額は9,139億円で、全国の24.7%を占めている。

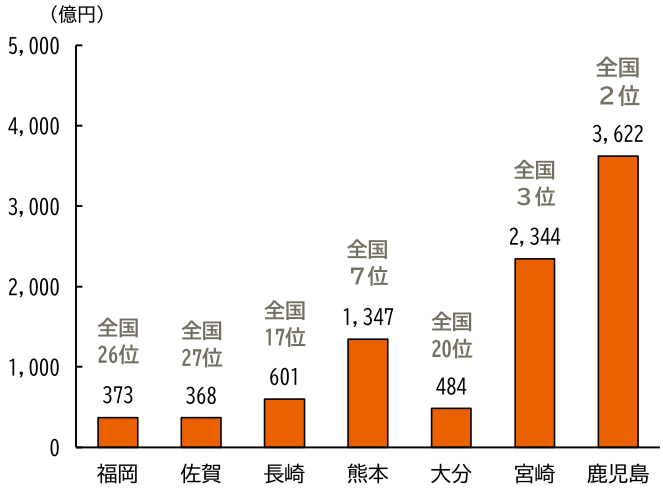
県別にみると、鹿児島県が3,622億円（全国２位）で最も大きく、次いで宮崎県が2,344億円（同３位）、熊本県が1,347億円（同７位）となっており、九州では熊本県、宮崎県及び鹿児島県の３県が全国10位以内に位置している。

農業地域別 畜産物産出額（令和６年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」
注　：全国は都道府県の合計。

九州各県 畜産物産出額（令和６年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

九州では肉用牛の産出額が最も大きい

畜産の産出額を品目別にみると、九州では肉用牛が3,064億円（全国シェア39.0%）で最も大きく、次いで豚が2,183億円（同28.6%）、ブロイラーが2,165億円（同50.8%）となっており、上位３品目で全体（9,139億円）の約８割を占めている。

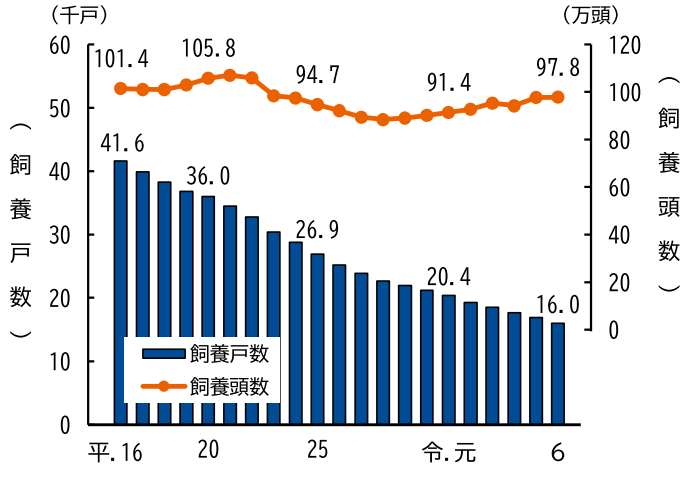
また、肉用牛の直近20年の動向をみると、農業経営体の高齢化等を背景に飼養戸数は減少傾向で推移している一方、規模拡大の進展等によって、飼養頭数はおおむね横ばいで推移している。

令和６年 畜産物産出額の上位品目（九州）

品　目	産出額	全国シェア	九州内１位 県	九州内１位 産出額
	億円	%		億円
肉用牛	3,064	39.0	鹿児島	1,192
豚	2,183	28.6	鹿児島	912
ブロイラー	2,165	50.8	鹿児島	1,054
生乳	734	8.2	熊本	332
鶏卵	725	12.4	鹿児島	332
ひな	98	24.7	鹿児島	29
乳牛	80	9.7	熊本	39

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」
注　：「ひな」は他都道府県に販売したもの。（以下同じ）

肉用牛生産の動向（九州）



資料：農林水産省統計部「畜産統計」

7．畜産物生産（つづき）

鹿児島県の肉用牛及びブロイラーの産出額は1,000億円を超える

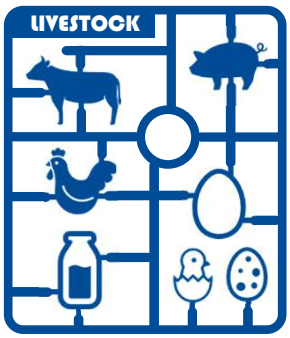
各県の畜産物の産出額の上位品目をみると、ほとんどの県で肉用牛が１位に位置している。

また、九州の畜産物の産出額の３割以上を占める鹿児島県では、肉用牛及びブロイラーの産出額がともに1,000億円を超えており、1,000億円を超える畜産部門の品目は、北海道の生乳（4,790億円）及び肉用牛（1,247億円）を除くと全国でこの２品目のみである。

九州各県 畜産物産出額上位品目（令和６年）

福岡			佐賀			長崎			熊本		
品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位
	億円	位		億円	位		億円	位		億円	位
鶏卵	88	22	肉用牛	188	11	肉用牛	249	7	肉用牛	420	4
肉用牛	77	26	ブロイラー	94	9	豚	147	16	生乳	332	3
生乳	74	23	豚	55	28	ブロイラー	85	11	豚	294	10
豚	59	27	生乳	16	43	鶏卵	63	27	鶏卵	103	20
ブロイラー	27	23	鶏卵	9	43	生乳	49	27	ブロイラー	102	8
ひな	21	9	乳牛	2	37	乳牛	6	17	乳牛	39	2
乳牛	8	13	ひな	2	19	ー	－	－	馬	19	…

大分			宮崎			鹿児島		
品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位
	億円	位		億円	位		億円	位
肉用牛	141	16	肉用牛	797	3	肉用牛	1,192	2
豚	136	18	ブロイラー	756	2	ブロイラー	1,054	1
生乳	87	18	豚	580	3	豚	912	1
鶏卵	49	29	生乳	88	16	鶏卵	332	4
ブロイラー	47	17	鶏卵	82	23	生乳	88	17
ひな	9	16	ひな	21	8	ひな	29	4
乳牛	7	14	乳牛	10	9	乳牛	9	10

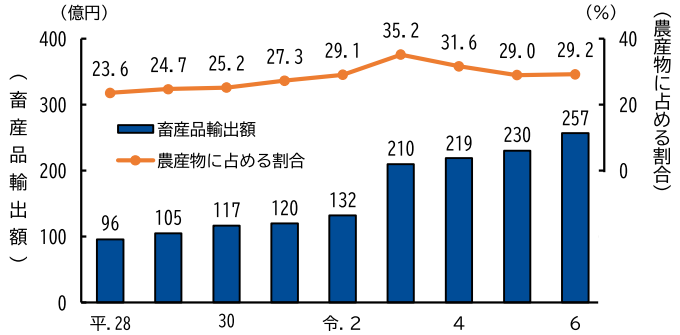


資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

九州の畜産物の輸出額は増加傾向で推移

令和６年における九州の港等からの畜産物（牛肉、豚の皮、鶏卵等）の輸出額は257億円で、農産物輸出額全体の29.2%を占めている。アメリカや台湾をはじめとする海外市場での需要拡大を背景に、輸出額は増加傾向で推移しており、８年前（平成28年）に比べて161億円（167.7%）増加している。

畜産物輸出額の推移（九州）



資料：九州農政局「見たい！知りたい！九州農業」

注　：財務省貿易統計をもとに、九州地域の港等からの輸出額を九州農政局で参考集計したもの。

牛肉の主な輸出先（令和６年）

- 佐　賀　：　香港、台湾、アメリカ　等
- 長　崎　：　タイ、アメリカ　等
- 熊　本　：　台湾、香港、アメリカ　等
- 大　分　：　台湾、アメリカ、香港　等
- 宮　崎　：　台湾、アメリカ、香港　等
- 鹿児島　：　アメリカ、ＥＵ　等

資料：九州農政局調べ（各県からの聞き取り）

8．九州農業に関する主要統計指標

項目		単位	年次	全国	九州	全国シェア	摘要（資料名）
農業経営体		経営体	令和７年	836,054	131,378	15.7%	2025年農林業センサス
	個人経営体	〃	〃	795,828	124,435	15.6%	〃
	団体経営体	〃	〃	40,226	6,943	17.3%	〃
	うち、法人経営体	〃	〃	33,819	5,866	17.3%	〃
基幹的農業従事者	数	人	令和７年	1,036,228	171,538	16.6%	2025年農林業センサス
	平均年齢	歳	〃	67.7	66.3	…	〃
耕地面積		ha	令和６年	4,272,000	502,400	11.8%	令和６年耕地及び作付面積統計
	田	〃	〃	2,319,000	293,900	12.7%	〃
	畑	〃	〃	1,952,000	208,500	10.7%	〃
耕地利用率		%	〃	90.4	101.8	…	〃
農業産出額		億円	令和６年	108,200	20,445	18.9%	令和６年農業産出額
	耕種	〃	〃	70,703	11,144	15.8%	〃
	畜産	〃	〃	36,932	9,139	24.7%	〃
	加工農産物	〃	〃	565	162	28.7%	〃
生産農業所得		〃	〃	40,932	7,605	18.6%	〃
水稲	作付面積（子実用）	ha	令和６年	1,359,000	143,700	10.6%	令和６年産作物統計
	10ａ当たり収量	kg	〃	540	489	…	〃
	収穫量（子実用）	t	〃	7,345,000	703,000	9.6%	〃
飼養頭羽数	乳用牛（めす）	頭	令和５年	1,313,000	97,800	7.4%	令和６年畜産統計（令和６年２月１日現在）
	肉用牛	〃	〃	2,672,000	978,200	36.6%	〃
	豚	〃	〃	8,798,000	2,753,000	31.3%	〃
	採卵鶏（種鶏を除く）	千羽	〃	168,599	21,601	12.8%	〃
	ブロイラー	〃	〃	144,859	74,080	51.1%	〃

項目		単位	年次	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
農業経営体		経営体	令和７年	22,921	12,403	14,327	27,619	14,638	16,929	22,541
	個人経営体	〃	〃	21,847	11,575	13,871	26,234	13,788	16,073	21,047
	団体経営体	〃	〃	1,074	828	456	1,385	850	856	1,494
	うち、法人経営体	〃	〃	874	390	423	1,187	747	815	1,430
基幹的農業従事者	数	人	令和７年	29,169	15,859	19,820	40,036	14,995	23,976	27,683
	平均年齢	歳	〃	66.5	66.2	65.4	65.6	69.7	65.6	66.5
耕地面積		ha	令和６年	78,000	49,600	44,900	103,300	53,800	62,500	110,400
	田	〃	〃	63,300	41,400	20,500	63,800	38,000	33,400	33,500
	畑	〃	〃	14,700	8,180	24,400	39,500	15,800	29,000	76,900
耕地利用率		%	〃	114.7	133.7	90.9	98.8	89.4	103.8	90.2
農業産出額		億円	令和６年	2,301	1,372	1,745	4,116	1,498	3,725	5,689
	耕種	〃	〃	1,917	999	1,142	2,752	1,008	1,343	1,983
	畜産	〃	〃	373	368	601	1,347	484	2,344	3,622
	加工農産物	〃	〃	11	4	2	18	5	38	84
生産農業所得		〃	〃	1,064	672	637	1,744	630	1,235	1,623
水稲	作付面積（子実用）	ha	令和６年	32,600	22,400	9,420	29,700	18,000	14,500	17,100
	10ａ当たり収量	kg	〃	467	505	487	516	491	481	470
	収穫量（子実用）	t	〃	152,200	113,100	45,900	153,300	88,400	69,700	80,400
飼養頭羽数	乳用牛（めす）	頭	令和５年	10,100	1,830	5,620	43,000	12,300	13,000	12,000
	肉用牛	〃	〃	23,200	52,200	93,500	134,000	54,400	258,200	362,700
	豚	〃	〃	79,800	69,500	181,200	347,900	153,200	721,900	1,200,000
	採卵鶏（種鶏を除く）	千羽	〃	2,852	251	1,826	2,466	912	3,098	10,196
	ブロイラー	〃	〃	1,168	3,929	3,297	3,746	1,782	28,155	32,003

注 ： 統計値は、四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

1. 農業経営体
2. 耕地面積
3. 農業産出額
4. 米生産
5. 野菜生産
6. 果実生産
7. 畜産物生産
8. 主要統計指標

問合せ先

九州農政局統計部
統計企画課
TEL：096-211-9111

九州農政局「統計情報」

Copyright : Kyusyu Regional Agricultural Administration Office